

GOVERNOR'S

Monthly Letter ガバナー月信 Vol.10

Rotary International District 2800
2010-2011



2011.
April 4



辛夷咲く大山下池



国際ロータリー第2800地区【2010 - 2011年度】

ガバナー 塚原初男 RI会長 レイ・クリングスミス RI理事 黒田正宏・近藤雅臣

ロータリー活動のケジメと巨大地震災害緊急対策

2010～2011年度
国際ロータリー
第2800地区

ガバナー

塚原初男

(鶴岡ロータリークラブ)



4月は雑誌月間

ロータリアンの購読義務のある雑誌の中で、「ロータリーの友」誌を毎月拝読させて戴いているが、縦書き編も、横書き編も、写真の取り扱いも、その編集の仕組みが鮮やかで、誌文も読み易く、内容も判り易いので、いつの間にか愛読するようになった。投稿され、編集に携わる各地区からの委員の皆さんをはじめ、二神典子編集長と編集スタッフの皆さんのお陰であり、感謝している。ロータリアンの購読義務誌は、他にも、英文月刊誌「The rotarian」などがあり、毎月、当誌の写真や興味深い英文記事を通覧させて戴いている。

これらの購読義務誌の他、地区、クラブ、ロータリアンが丹精を込めて発刊して下さっているロータリー関連文献等は少なくない。これらから、最近、感じるようになった泡のような、ぼんやりとした疑問について、改めて勉強してみたいと思うテーマがあり、一度は、引用させていただこうかなと考えていた。そのテーマとは、ロータリー活動と行政とのケジメの付け方についてである。先人の文献誌上から、ケジメの付け方を学びとりたいというのである。もちろん、ロータリーは政治組織ではないし、宗教組織でもない。ロータリー活動は行政施策ではないことを先人からガッチリと教え込まれているので、そのこと自体に疑問は無い。

だからといって、ロータリーは慈善団体でもなければ、発展途上国の援助が目的の団体でもないこと。単なるお金集めや人集めの団体でもないことは先人の教訓（廣畑富雄氏,2008）の通りだと自分も受け止めている。また、例えば、ある政治家や宗教家が、政治や宗教活動を離れて、1人の職業人としてロータリー団体に参加し、ロータリー活動に参加することにも、奨励されることはあれ、疑問は全く無い。

先日、地区内のあるクラブ会長から、嬉しいニュースを耳にした。これまで複数年、地域のある高校の国際奉仕活動を支援して来たところ、そのことが地域の行政側に伝わり、そのような善行は地域行政としても住民に奨励したい事なので、その高校への行政支援が来年度予算に計上されることになった、という。クラブのロータリー活動が地域行政施策の動機付けになった好例であり、ロータリー活動と行政施策のケジメの好例として受け取れた。

このような事例のように、自分はこれまで、国内行政であれ、国際行政であれ、ロータリー活動は行政施策の動機付け、ヒューマン・リレーションによる動機付けに徹すべきであろうと理解して来た。ポリオ撲滅運動にしても、国際ロータリーの新長期計画にしても、その理解を超えて、行政施策と同じレベルまで立ち至ってはならないと受け止めてきた。このような自分の理解が、果たして正しかったのかどうか、疑問を感じるようになったのは、自分だけであろうか。そのため、両者のケジメについてももう一度勉強し直してみたくなったのである。

ところが、原稿づくりの真最中、3月11日14時46分、未曾有の東北・関東巨大地震が発生し、大津波の襲来による空前の大災害が発生した。自分は、たまたま山形市の内孫ら長女家族と一緒にだったので、小国町の実母、鶴岡市の妻、郡山市の次女家族、岩沼市の三女家族、仙台市の実弟家族、東京都の実妹家族との連絡に追われた。岩沼市と仙台市との連絡が途絶え、14日夕方の連絡再開によって、岩沼市の義父さんご家族に1名の行方不明者のあることがわかり、三女と実弟両家族の無事が確認されるまでの3日間は、何故か最悪の事態ばかりが目の前にチラつき、冷静さを欠いて、文献研究どころではなかった。

今回は、上述の文献研究を中断し、当地区の初期緊急対策について紹介させて戴くことをお許し戴きたい。

当地区の初期緊急対策について

1. 全国同期ガバナーとのメール交信

地震発生直後、同期ガバナー会議長の上野操氏より、鶴岡の自宅宛にお見舞いの電話が届き（妻からの連絡）、感謝で一杯である。その後、電話回線が不通となり、鶴岡市のガバナー事務所や妻からの携帯受信は時々可能だったが、山形から事務所へ、及び妻への携帯発信は一切不可能になった。停電が解除され、山形でのメール通信が再開されたのは12日夕方からである。早速、全国同期ガバナーとのネットによるメール交信を開始し、現在も継続中である。

2.

12日開催予定のPETSと4月9日開催予定の地区協議会は5月15日に延期となった。13日開催予定の地区ロータリーアクト会長・幹事会は中止となった。なお、今回の巨大地震による地区内の災

害実態は、まだ十分には把握出来ていない。判明次第、順次対応したいと思っている。

3.

受付先の設置要望

14日朝、上野操ガバナー会議長宛に、全国的な義援金受付先の設置要望を提出させて戴いた。その結果、同日昼過ぎ、ガバナー会議長・副議長より、受付先が設置されたとの返信が届いた。

4.

クラブ宛義援金(仮称)の募金活動案内

14日朝、地区内全クラブ宛、緊急の災害救済義援金募金の案内を発信させて戴いた。その集約の前に、従来の地区災害特別会計の残金(約180万円)及び流用可能な地区特別会計の残金(約120万円)の合計額(約300万円)を第1次義援金額として、ガバナー会受付先に送金したいと考えている。

5. 救援物資等の支援

救援物資等の支援については、輸送の混乱を避けるため、とりあえず、ガバナー事務所宛ではなく、各地域公共施設等の受付窓口宛にお願いすることとした。

今回の募金は、ニュージーランド地震災害救済義援金、及び新燃岳噴火災害義援金に引き続く連続的な活動となり、その点は心苦しい面も否定出来ないが、日を迫うごとに被災情報の拡大する今回の巨大地震、大津波、そして原力発電事故による歴史的な巨大複合災害をご賢察のうえ、ロータリアンの心意気を如何なく発揮されて、皆様の最大限の善意をお寄せ戴きたく、心からお願い申し上げる次第である。

(2011. 3. 15記)

4月は雑誌月間

各クラブが発行している会報の中から無作為に選び、掲載させていただきました。

酒田中央RC

酒田中央RC 4月号誌面. 特集: 絆 (絆). 酒田中央ロータリークラブ. 会長 坂本 雅夫. 副会長 藤田 孝之. 本誌の趣旨: 本誌の趣旨は、二国間関係が向上...

酒田スワンRC

酒田スワンRC 4月号誌面. Sakata Swan Rotary Club Weekly. 会長 松本 雅子. 副会長 藤田 孝之. 本誌の趣旨: 本誌は「酒田スワン」の発展と、酒田スワンロータリークラブの発展を目的として発行されています...

鶴岡RC

鶴岡RC 4月号誌面. 鶴岡ロータリークラブ. 会長 佐藤 孝子. 副会長 藤田 孝之. 本誌の趣旨: 本誌は鶴岡ロータリークラブの発展と、鶴岡ロータリークラブの発展を目的として発行されています...

鶴岡南RC

鶴岡南RC 4月号誌面. 鶴岡南ロータリークラブ. 会長 長岡 正. 副会長 藤田 孝之. 本誌の趣旨: 本誌は鶴岡南ロータリークラブの発展と、鶴岡南ロータリークラブの発展を目的として発行されています...

天童東RC

天童東RC 4月号誌面. 天童東ロータリークラブ. 会長 今田 治雄. 副会長 藤田 孝之. 本誌の趣旨: 本誌は天童東ロータリークラブの発展と、天童東ロータリークラブの発展を目的として発行されています...

尾花沢RC

尾花沢RC 4月号誌面. 尾花沢中央ロータリークラブ. 会長 青柳 孝治. 副会長 藤田 孝之. 本誌の趣旨: 本誌は尾花沢中央ロータリークラブの発展と、尾花沢中央ロータリークラブの発展を目的として発行されています...

「友」でクラブ運営活性化に

ロータリーの友委員 委員長 青柳 孝治



2月14日に「友」紙の第1ゾーン代表委員会議が、代表委員11名(欠席3名)、役員等5名、編集スタッフ3名、計19名が出席して開催されました。委員長のあいさつに続いて会議に入り、各地区の近況報告が全参加者から報告され、全体討議として、地域の特性を生かした活動について話し合いが行なわれました。参加者全員が活発な意見交換を行ない大変有意義な会議となりました。地区によって活動は種々異なりますが、地区内全域のことを考えて活動計画を樹立し活動していました。

寒河江RC

2010~2011 寒河江ロータリークラブ Sagae Rotary Club. 2010-2011年度 第133回例会. 2月24日 本日のプログラム. 会長 渡辺 隆一. 副会長 山本 浩一.

大江RC

2010-2011 大江ロータリークラブ Oogata Rotary Club. 2010-2011年度 第133回例会. 2月24日 本日のプログラム. 会長 野口 健一. 副会長 伊藤 隆雄.

寒河江さくらんぼRC

2010-2011 寒河江さくらんぼロータリークラブ Sakurabara Rotary Club. 2010-2011年度 第133回例会. 2月24日 本日のプログラム. 会長 渡辺 隆一. 副会長 山本 浩一.

山辺RC

2010-2011 山辺ロータリークラブ Yamabe Rotary Club. 2010-2011年度 第133回例会. 2月24日 本日のプログラム. 会長 山辺 隆一. 副会長 山本 浩一.

山形西RC

2010-2011 山形西ロータリークラブ Yamagata West Rotary Club. 2010-2011年度 第133回例会. 2月24日 本日のプログラム. 会長 野口 健一. 副会長 伊藤 隆雄.

米沢中央RC

2010-2011 米沢中央ロータリークラブ Yonezawa Central Rotary Club. 2010-2011年度 第133回例会. 2月24日 本日のプログラム. 会長 渡辺 隆一. 副会長 山本 浩一.

「友」の代表委員の地区内での情報の把握が必要ですし、委員として地区内での活動が盛んな地域ほど、「友」に情報の提供・投稿も多いようです。又、「友」から情報を仕入れて、地区とクラブに情報の提供や雑誌に関する卓話等をやっているように見えます。当地区でも「代表委員」の地区での位置づけを明確にしロータリー雑誌、広報、ICO小委員会と連携を密にして活動する必要があります。

4月は雑誌月間となっております。地区でも月間にちなんで何か事業を考えてほしいと思います。「友」紙を読んで「面白かった」「良かった」「疑問点」等、例会で話し合ったり、又、感想文を書いてガバナー事務所に送ってほしいと思います。「友」紙を皆で読んでクラブ運営に活用していただきたいと思います。

新旧ガバナー補佐・委員長会議

地区チーム研修セミナー

次年度地区幹事

尾形 亨

(山形西ロータリークラブ)



去る3月19日（土）山形テルサにおいて研修会が開催されました。東海林健登事務局長の司会進行の下、塚原初男ガバナーの挨拶の後、次の三部

に渡り研修会に入りました。

第1部は「新旧ガバナー補佐・大小委員長による引継分科会」。ガバナー補佐部会ではクラブ協議会・公式訪問・IM・次期ガバナー補佐の選任に関する苦労話、また各委員会では継続事業・新規事業・セミナーに関する事等が話し合われました。

第2部は、直前ガバナーの佐藤豊彦研修リーダーの挨拶に続き、細谷伸夫ガバナーエレクトよりアメリカのサンディエゴで行われました国際協議会の報告とカルヤン・バネルシー（インド・グジャラード）RI会長エレクトからのメッセージがビデオにて紹介されました。2011-12年度RIのテーマと会長の強調事項は次の通りです。

I. RIテーマ「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」

II. RI会長の強調事項

1. 第一の強調事項は「家族」です。
2. 第二の強調事項は「継続」です。
3. 第三の強調事項は「変化」です。

III. もうひとつの目標「笑いと喜びと幸せの年度に」

それを受けて地区の目標（案）として

「思いやりの心を育て、広めよう」

－自分に、家族に、地域に、世界に

心の中の奉仕の心を見つめ、育てることから始

めましょう。そして奉仕の心を広め、行動しましょう。自分に、家族に、地域に、世界に。博愛とは、広く愛すること、個人的考え、主義主張を越えて愛することです。奉仕の心とは思いやりの心です。と説明され5つの基本的な考え方、10の重点事項、9つの方針が示されました。

第3部は、次期地区の大小委員長の皆様方より委員会の方針、意気込み等発表が行われました。

1. クラブ管理運営委員会
2. 会員増強・広報委員会
3. 社会奉仕委員会
4. 職業奉仕委員会
5. 新世代奉仕委員会
6. 国際奉仕委員会
7. ロータリー財団委員会
8. 米山奨学委員会

終わりに、佐藤豊彦研修リーダーより次年度への期待とアドバイスおよび講評をいただきました。

最後に、今後の日程について尾形亨次期地区幹事より説明が行われ、平吹和之次期資金委員長の閉会の挨拶で全ての研修会が終了いたしました。



第23回全国ローターアクト研修会



ローターアクト小委員会委員長
佐藤 洋行
(米沢上杉ロータリークラブ)

『年に一度、日本全国のロータリーとローターアクトが集うことにより、より良い関係を築き、ローターアクト発展に努める』という趣旨の下、研修会が開催されました。目的は、1)ローターアクト地区間のより良い信頼関係を推進するための機会、2)ローターアクト活動の建設的な意見交換、情報交換のための機会、3)ローターアクト会員の親睦と友好のための機会、4)参加者の指導力養成、5)ローターアクトの活動を広く紹介するための機会の5点です。今年度のテーマは「愛」、ホストは埼玉県(第2570地区・第2770地区)のRCとRAC、開催日は2月11日～12日。当2800地区から12名で出席いたしました。

1日目の基調講演は、日本で初めてローターアクトクラブが結成された第2570地区パストガバナール鈴木勲二氏による「いま、ローターアクトクラブに求められているもの」で、結成から現在までの歴史やロータリアンの思いとローターアクトの原点についての講話でした。その後、ロータリーとローターアクトに分かれての代表者会議とレセプションがあり、2日目は全体会議が行われました。このような全国規模の研修会は、参加しなければ体験できない内容が沢山あり、大変貴重な経験ができます。次年度は第2560地区新潟県で開催されます。近県ですので、当地区からぜひ大勢のローターアクターに参加して頂き、全国のアクターと交流し、様々な研修プログラムを実体験して、今後のより良い活動に活かしてもらいたいと思います。

企業の実践 8 エムテックスマツムラ

エムテックスマツムラでは子会社とその地域を含めた防災への貢献活動として、'83年に自衛消防隊を組織し、自社内だけでなく、近隣の消火活動にも貢献している。消防隊隊員は、通常業務時間帯にも消防署員と同様の服装をしており、ご来訪の方に驚かれることもある。

一方、環境保全では、'01年に環境ISO14001を取得し、現在第3次中期環境計画に沿って全社員で活動している。第2次計画までは、電力消費量や廃棄物の削減から、CO₂排出量削減及びゼロエミッションへの挑戦を進めてきた。結果、'09年度までにリサイクル率99.1%を達成し、ゼロエミ達成宣言を行った。'00年の排出物量63t/月が'09年には13t/月となったのである。これらの活動により、東北経済産業局長賞('09)や山形県環境保全推進賞('10)を受賞した。

次に、社員の健康を重視した禁煙活動においては、'96年に発令された「喫煙対策ガイドライン」に沿って禁煙・節煙チャレンジ活動や喫煙場所の指定、学習会、時間分煙等を継続実施し、'04年に食堂禁煙、'05年に建屋内禁煙とたばこ自販機の撤去、'06年以降屋外喫煙所の縮小や受動喫煙の講演会などをへて、'08年5月に「終日敷地内禁煙」をスタートした。

今後も地域社会との共存と社員の健康管理に配慮し地域環境保全を考えた企業の実践を進めていく予定である。(天童ロータリークラブ 松村澄男)



国際親善奨学生レポート ポルトガルから 安孫子 広

2011年明けましておめでとうございます。

クリスマス、大晦日、お正月はリスボンで過ごしました。クリスマス休暇で留学生の友人は皆帰国してしまい、「せっかくのポルトガルでのクリスマスが一人ぼっちなんて!」と思っていたところ、以前にも尋ねたことのあるポルトガル人の友人家族が家に招待してくれました。欧米ではクリスマスは家族で過ごすもの。あえて旅行にも行かず、ポルトガル人家族に混ざってポルトガルのクリスマスを満喫できたことは本当に幸運でした。

24日の夜に友人家族と親戚が大勢集まって、伝統的なクリスマス料理をいただきました。ゆでたバカリヤウ(干し鱈)、じゃがいも、にんじんなどのゆで野菜にオリーブオイルをたっぷりかけて食べます。このほか、ワイン、チーズ、生ハム、チョリソ、それにテーブルに載せきれないほどのデザートの数々…。勧められるままに食べて飲んで、好物をおなかいっぱい詰り込み幸せな夜なものでした。食後はみんなでTV、お話。と、日付が25日変わった瞬間、用意したプレゼントをオープン。こんなににぎやかにプレゼントを交換しあったのは、高校生ときのアメリカ留学以来で、子供に戻った気分でもありがたくプレゼントをいただきました。私は招待してくれた家族に、先日リスボンにオープンしたMUJI(無印良品)から日本らしいものを選んでプレゼントしました。25日のランチは、重さ6kgもある七面鳥のローストをみんなで切り分けて食べました。

のんびりと、家族みんなで集まって過ごすクリスマス。招待してくれた友人家族は、ポルトガルのホストファミリーのような存在になりました。ポルトガルにどっぷり浸かった3日間、ますますポルトガルが好きになりました。

年明け後すぐにマドリードへ一人旅に出かけました。マドリードの英語もポルトガル語も通じない美容院で、ヘアカット。どうにでもなれという気持ちで髪型をジェスチャーやポルトガル語でオーダーし、ぱっさりと、伸びきった髪の毛を切りました。

今月は、帰国間際のコインブラに滞在中の教授をもう一度訪問してきました。10月のはじめにお会いしたときの様子は教授の白水社HPに掲載されています。

市之瀬敦「クレオール語をはじめて聞いた町から」

<http://www.hakusuisha.co.jp/essay/2010/11/18/1100.html>

3ヶ月ぶりの再会でしたが、先生とお話することで、自分自身の変化や今後の目標など再確認できたように思います。ポルトガルでの留学生活も5ヶ月目、さまざまなものが見えるようになり、自分の中で増えた引き出しや新しい考え方に気づくきっかけでもありました。そして、「もっとできる」そんな思いも同時にあり、これからどんな風に自分を変えていけるのか、楽しみにもなったのでした。

この2ヶ月ほどは、楽しいことばかりでもなく辛い時期だったのですが、最近では、自分でそこから這い上がってきたことに自信を持てるようになりました。今持つものを手放す勇気も時には必要なのかも。大胆に、斬新に。2月に入るとまもなく後期の授業が始まります。後期からは外国人ポルトガル語の授業も受けつつ、イタリア語、アフリカン・スタディーの講義を受けようと考えています。

2011年も、沢山の笑顔にあふれた1年となりますように!今年もどうぞよろしくお願ひいたします。いつも温かく見守っていただき本当にありがとうございます。

2011年1月

もうすぐ春がやってきそうな気配

リスボンにはやっぱり太陽が必要だと思う今日この頃

奄美豪雨災害義援金の御礼

2800地区ロータリアンの義援金54万1,000円を、12月中に送金しております。(2月27日 第3回諮問委員会で報告済)



国際ロータリー第二七三〇地区 ガバナー
伊藤 学 而
鹿児島県奄美分区分会 ガバナー 補佐 久保田 岩洋
奄美ロータリークラブ 会長 吉田 邦男
奄美中央ロータリークラブ 会長 小代 正隆
奄美瀬戸内ロータリークラブ 会長 森 一治

平成二十三年二月二十四日

報告申し上げます。
ロータリアンの友情と奉仕の理想の実践に深く感謝し、御礼とさせていただきます。

奄美豪雨災害 義援金の御礼

拝啓 ロータリー年度も後半に入り、皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。昨年十月二十日の奄美豪雨災害に際しましては、当地区だけでなく、全国の三十三地区と七百名のロータリークラブから、暖かいご支援を頂きまして有難うございました。最終的に三千三百万円の義援金が集まりました。心から感謝申し上げます。

今回の豪雨は、五十数年ぶりの豪雨と云われております。島内の至るところで林地が崩壊し、各地で大規模な土砂流出が発生したために道路が寸断され、農地や人家にも多大な被害が生じ、死者も出ました。国の局地激甚災害の指定を受けて、県、市町村による復旧工事が順調に進んだ結果、幹線道路の交通規制もほぼ解除され、島の自然も以前の状態に戻りつつありますのでご休心ください。

集まりました義援金の配布については、全国各地のロータリアンの善意が関係者の目に見える形で被災者の方にお届けしたいと考えました。そこで十二月二十四日、奄美市・瀬戸内町・龍郷町・大和村の首長の方々のご臨席を賜り、報道関係者にも立会って頂いて、奄美サンプラザホテルの一室で義援金贈呈式を執り行いました。そしてそれぞれの市町村で、被災者の方に直に義援金をお渡し頂くようお願いいたしました。お蔭で被災者への配布は一月十日を以って終了いたしましたのでここに報告申し上げます。

東日本大震災 国際ロータリーが支援

イギリスから被災者のためのテントなどをまとめた「シェルターボックス」が日本へ

東日本大震災の被災地へは、世界各国から支援が相次いでいる。ロータリーの国際組織「国際シェルターボックス」が日本に「シェルターボックス」を送った。

地震や津波といった自然災害の被害から被災者を救うという「シェルターボックス」は、家を失った被災者が生きていくために必要なものが詰め込まれた命の箱だ。その中身は毛布、敷物、そして工具、食器類、さらに子どものために色鉛筆や

塗り絵も入っている。家族10人が暮らすことができる大型のテントに加えて、雨水をろ過する浄水器、煙突のついた本格的なコンロなど、これ1つで生活を立て直すことができる装備がふんだんに備えられている。世界を救った命の箱「シェルターボックス」は、15日に最初の20個が日本に到着し、さらに400個が追加発送され、被災地へと向かっている。

<http://www.fnn-news.com/news/headlines/articles/CONN00195351.html>

PETS および 地区協議会の 変更についてのお願い

平成23年3月22日

ガバナー 塚原初男 ガバナーエレクト 細谷伸夫

この度の東日本大震災は未曾有の災害をもたらしました。当初予定しておりましたPETS(3月12日)が中止となり、急遽変更した3月26日開催につきましてもガソリン不足、避難者の受入等、直接・間接の被害又は影響で変更せざるを得なくなりました。大幅かつ不規則な変更となりますが、千年に一度の大災害の発生を前にした決断でございますのでご了承頂きたく、ご連絡申し上げます。

- 日時／平成23年5月15日(日)
午前—PETS 午後—地区協議会
- 場所／山形グランドホテル

※詳細のご案内は後日ご送付申し上げます。

文庫通信 No.282

地区大会記念講演より

- ◎「洒落たいなかの食風景」小泉武夫 2010 10p (D.2830)
- ◎「フラガール誕生からスパリゾートへの道のり」
斎藤一彦 2010 9p (D.2550)
- ◎「試練が人を磨く」 桑田真澄 2010 11p (D.2520)
- ◎「スポーツの世界、勝負の掟」山本 浩 2010 2p (D.2690)
- ◎「人と自然との共生」 C.W.ニコル 2010 4p (D.2690)
- ◎「未踏の地球内部を掘る—地球深部探査船「ちきゅう」の挑戦」
平 朝彦 2010 4p (D.2640)
- ◎「足元の宝物で地域再生を」 月尾嘉男 2010 10p (D.2640)

【上記申込先：ロータリー文庫(コピー/PDF)】

ご逝去

東根ロータリークラブ

本堂良寿 氏 2011.2.18 享年76歳

ご冥福をお祈りします

新入会員のご紹介



たか ほんせい いち
高橋 誠一 君
所属クラブ：遊佐RC
入会日：2011.1.14
職業分類：観光施設



しお かわ たかし
塩川 孝志 君
所属クラブ：米沢RC
入会日：2011.2.17
職業分類：百貨店



ほら だ まさお
原田 正夫 君
所属クラブ：天童東RC
入会日：2010.12.22
職業分類：電気工事



くに い かつ ゆき
國井 和行 君
所属クラブ：天童東RC
入会日：2011.1.2
職業分類：運送



こ せき とし ひで
小関 利英 君
所属クラブ：米沢上杉RC
入会日：2011.2.1
職業分類：特殊土木工事業



お かわ のぶ あき
小川 信昭 君
所属クラブ：最上RC
入会日：2011.1.25
職業分類：住職(天徳寺)



すが わら かつ やす
菅原 勝安 君
所属クラブ：酒田スワンRC
入会日：2011.2.1
職業分類：精密機械・部品製造



ひろ せ あきら
広瀬 明 君
所属クラブ：酒田スワンRC
入会日：2011.2.1
職業分類：電気通信

米山 功労者
第4回 米山功労者
マルチプル
相座 弘寿 君
所属クラブ：寒河江RC
職業分類：総合建設

ポールハリスフェロー



マルチプル(1)
金内 忠一 君
所属クラブ：余目RC
職業分類：不動産賃貸



マルチプル(1)
佐藤 光二 君
所属クラブ：余目RC
職業分類：靴・眼鏡・貴金属販売



マルチプル(1)
佐藤 孝二郎 君
所属クラブ：余目RC
職業分類：農業



マルチプル(1)
梅津 武雄 君
所属クラブ：余目RC
職業分類：ビジネスホテル



佐藤 巧 君
所属クラブ：寒河江RC
職業分類：土木建設



相原 英之 君
所属クラブ：寒河江さくらんぼRC
職業分類：塗装業



遠藤 貞利 君
所属クラブ：寒河江さくらんぼRC
職業分類：塗装業



増川 春美 君
所属クラブ：寒河江さくらんぼRC
職業分類：居酒屋



小林 清治 君
所属クラブ：寒河江さくらんぼRC
職業分類：CD制作

クラブ会員数 / 出席率

ブロック	No.	クラブ名	2010.7.1 会員数	内女性 会員数	2011.2.28 会員数	内女性 会員数	年初からの増減数		2月 出席率	年初からの 平均出席率
							増	減		
第1ブロック	1	酒田	36	4	41	4	5	0	87.82	93.91
	2	酒田東	35	3	35	3	0	0	82.10	90.05
	3	遊佐	12	0	12	0	1	1	88.89	92.10
	4	酒田中央	37	0	37	0	0	0	74.76	77.48
	5	酒田スフン	15	6	17	6	2	0	100.00	100.00
	6	酒田湊	16	2	17	2	1	0	88.24	92.28
第2ブロック	7	鶴岡	36	5	38	5	3	1	82.89	85.99
	8	鶴岡西	34	4	35	4	1	0	87.17	90.80
	9	余目	29	1	28	0	0	1	64.60	86.86
	10	立川	18	0	18	0	0	0	84.72	82.86
	11	鶴岡東	39	2	37	2	0	2	75.25	75.30
	12	鶴岡南	23	4	24	4	2	1	62.50	68.61
第3ブロック	13	天童	47	2	44	1	0	3	98.24	99.02
	14	東根	36	0	36	0	1	1	84.17	83.36
	15	天童東	49	0	50	0	1	0	90.43	89.40
	16	天童西	23	0	22	0	1	2	86.36	88.77
	17	東根中央	37	1	38	1	1	0	81.58	77.20
	18	村山	18	0	15	0	0	3	98.33	95.56
	19	新庄	19	2	19	2	0	0	90.79	92.93
	20	尾花沢	18	0	18	0	0	0	88.89	85.74
	21	最上	19	1	19	1	0	0	84.21	85.98
	22	尾花沢中央	17	0	18	0	1	0	87.50	89.79
	23	村山ローズ	21	5	21	5	0	0	67.86	65.63
	24	新庄あじさい	20	0	20	0	0	0	88.33	92.14
第4ブロック	25	寒河江	51	0	50	0	1	2	88.92	92.01
	26	大江	22	1	21	1	0	1	92.90	97.60
	27	河北	32	0	32	0	0	0	67.70	80.98
	28	寒河江さくらんぼ	36	2	35	2	0	1	89.04	81.15
	29	西川月山	18	0	18	0	1	1	70.83	74.94
第5ブロック	30	山形	86	0	91	0	6	1	94.60	96.81
	31	山形北	74	0	74	0	1	1	93.25	94.65
	32	山辺	30	0	30	0	0	0	97.41	95.83
	33	山形南	56	0	56	1	2	2	94.78	95.41
	34	中山	13	0	15	0	4	2	82.22	78.36
	35	山形西	99	0	103	0	5	1	90.69	91.45
	36	上山	16	1	15	0	0	1	85.71	85.78
	37	山形東	42	0	40	0	0	2	93.72	88.61
	38	山形中央	37	4	39	4	2	0	80.92	79.30
	39	山形イブニング	35	1	34	1	1	2	80.47	76.81
第6ブロック	40	米沢	49	7	49	7	3	3	98.00	86.88
	41	米沢上杉	47	3	48	3	3	2	97.40	95.19
	42	高島	46	3	48	3	2	0	81.77	80.57
	43	米沢中央	37	3	38	5	4	3	96.49	96.71
	44	米沢おしょうしな	28	1	28	1	0	0	97.00	85.13
	45	川西ダリア	8	0	8	0	0	0	78.00	77.54
	46	長井	32	1	33	1	1	0	100.00	94.97
	47	南陽	21	4	20	4	0	1	97.25	96.35
	48	白鷹	18	0	17	0	0	1	80.88	88.48
	49	小国	17	0	16	0	0	1	58.29	81.35
	50	南陽東	45	0	43	0	0	2	94.19	88.38
	51	長井中央	17	0	17	0	0	0	97.06	94.11
	52	南陽臨雲	31	1	29	1	0	2	46.55	56.84
合 計			1,697	74	1,706	74	56	47	85.61	86.81

4

月の地区スケジュール

April

日曜日 地区行事

4/1 金

2 土 GSE派遣チーム 第8回 研修会

3 日

4 月

5 火

6 水

7 木

8 金

9 土 地区協議会(山形テルサ)5月15日に延期

10 日

11 月

12 火

13 水

14 木

15 金

16 土 GSE派遣チーム 第9回 研修会

17 日

18 月

19 火

20 水

21 木

22 金

23 土 第3ブロックIM中止 GSE派遣チーム 第10回 研修会

24 日

25 月

26 火

27 水

28 木

29 金 昭和の日

30 土

5/1 日

2 月

3 火 憲法記念日

4 水 みどりの日

5 木 こどもの日

6 金

7 土 米山奨学生オリエンテーション、カウンセラー研修会(山形)

8 日

9 月

10 火

11 水

庄内の文化財



王昭君図 菱田春草筆(重要文化財)

菱田春草(一八七四—一九一一)は長野県飯田市出身の日本画家。中国漢の元帝が、後宮の美女を匈奴の王に送ることになり出発の光景を描いた図。菱田春草の代表作の一つ。

善寶寺所蔵



国際ロータリー第2800地区
2010-2011年度ガバナー

塚原初男

ガバナー事務所

997-0014 山形県鶴岡市大宝寺町3-48
マルトモビル2F

TEL 0235-64-0797 FAX 0235-64-0798

E-mail: office2010@rid2800.jp

【表紙】白鷺社会員 櫻井 清

絵：辛夷(こぶし)咲く大山下池